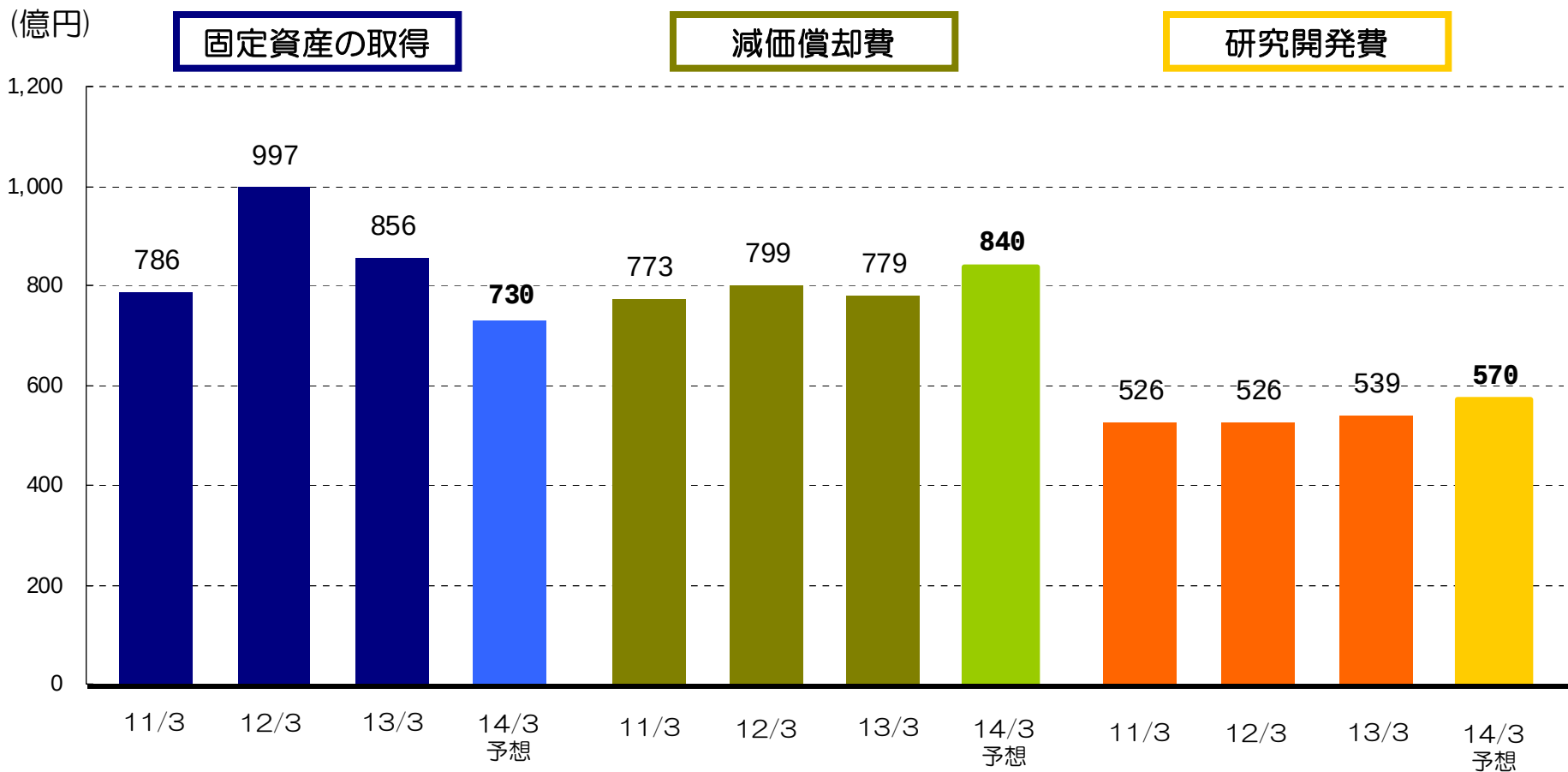


補足資料

2014年3月期各種費用予想 - 固定資産の取得、減価償却費、研究開発費-

●前回公表値（4月26日）から変更なし



売上高及び営業利益の四半期推移

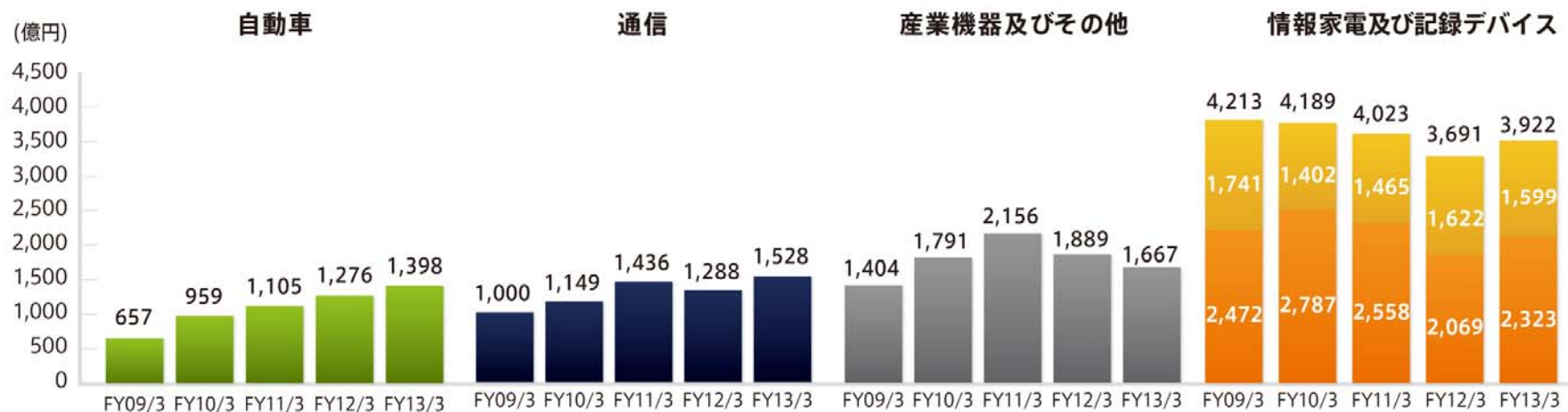
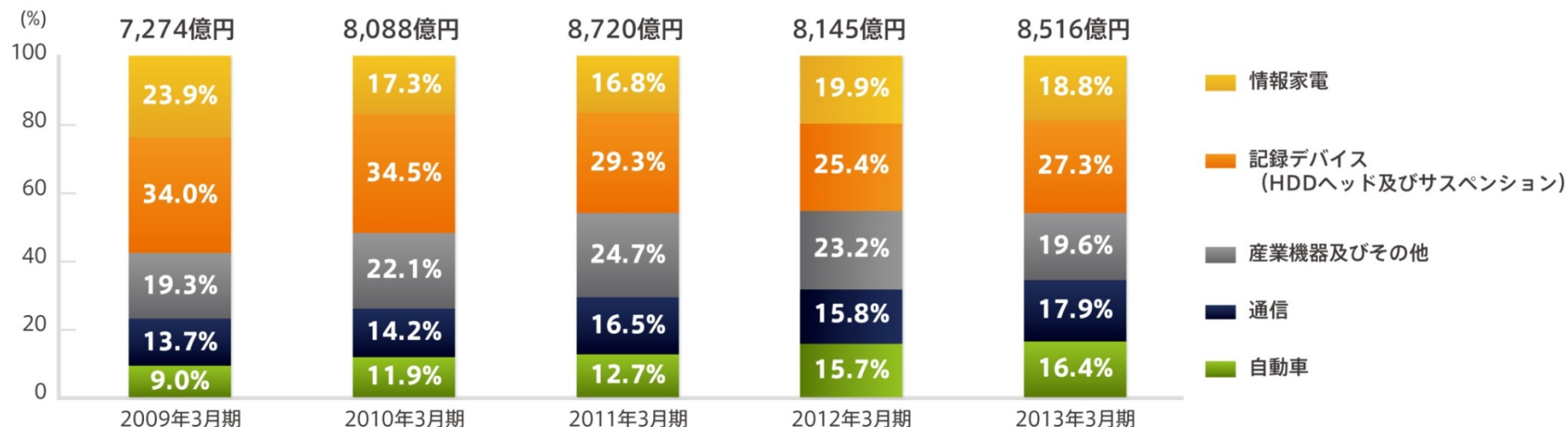


(億円)		2013年3月期					2014年3月期				
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	コンデンサ	314	292	266	307	1,180	337				
	インダクティブデバイス	282	296	306	312	1,196	350				
	その他受動部品	318	317	360	425	1,421	483				
	受動部品合計	915	906	931	1,044	3,796	1,170				
	記録デバイス	599	558	602	576	2,335	602				
	その他磁気応用製品	283	276	240	245	1,044	260				
	磁気応用製品	882	834	842	821	3,379	862				
	フィルム応用製品	232	277	330	286	1,126	286				
	その他	58	52	50	54	214	47				
	合計	2,087	2,070	2,154	2,205	8,516	2,365				
営業利益	受動部品	△ 29	△ 25	△ 18	△ 39	△ 111	28				
	磁気応用製品	146	132	75	18	371	46				
	フィルム応用製品	21	50	36	17	124	16				
	その他	△ 4	△ 5	△ 6	△ 3	△ 18	△ 8				
	小計	134	152	88	△ 8	367	82				
	全社および消去	△ 42	△ 41	△ 37	△ 30	△ 150	△ 42				
	合計	92	112	51	△ 38	216	40				
為替	対ドルレート	80.27	78.67	81.17	92.20	83.03	98.74				
	対ユーロレート	103.18	98.28	105.28	121.74	107.05	128.96				

連結キャッシュフロー計算書

(億円)	2013年3月期 第1四半期実績	2014年3月期 第1四半期実績	前年同期からの変化
営業活動による キャッシュフロー	215	228	13億円増加 <増加要因> 減価償却費の増加：29億円 たな卸資産の減少：63億円 <減少要因> 非支配持分控除前純利益の減少：40億円
投資活動による キャッシュフロー	△ 203	△ 160	43億円減少 <増加要因> ・短期投資の取得の増加：56億円 ・固定資産の売却等の減少：26億円 <減少要因> ・固定資産の取得の減少：95億円 ・短期投資の売却及び償還の増加：30億円
フリーキャッシュフロー (FCF)	12	68	約56億円増加
財務活動による キャッシュフロー	44	27	17億円減少 <増加要因> ・長期借入債務による調達額の増加：120億円 <減少要因> ・短期借入債務の減少：168億円
為替変動による影響額	△ 68	100	168億円の増加要因
現金同等物残高	1,657	2,331	約674億円増加

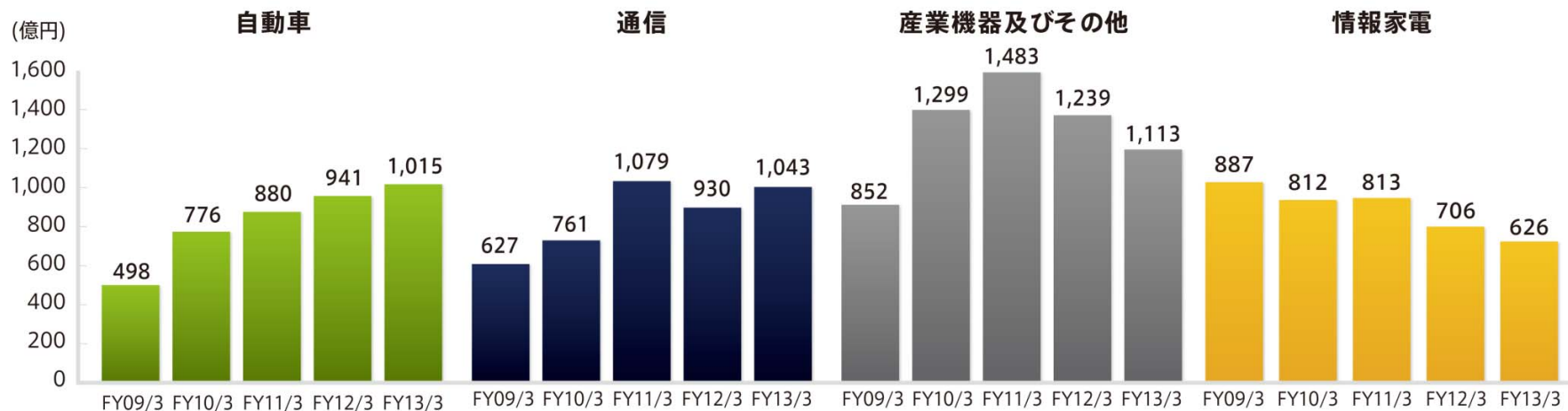
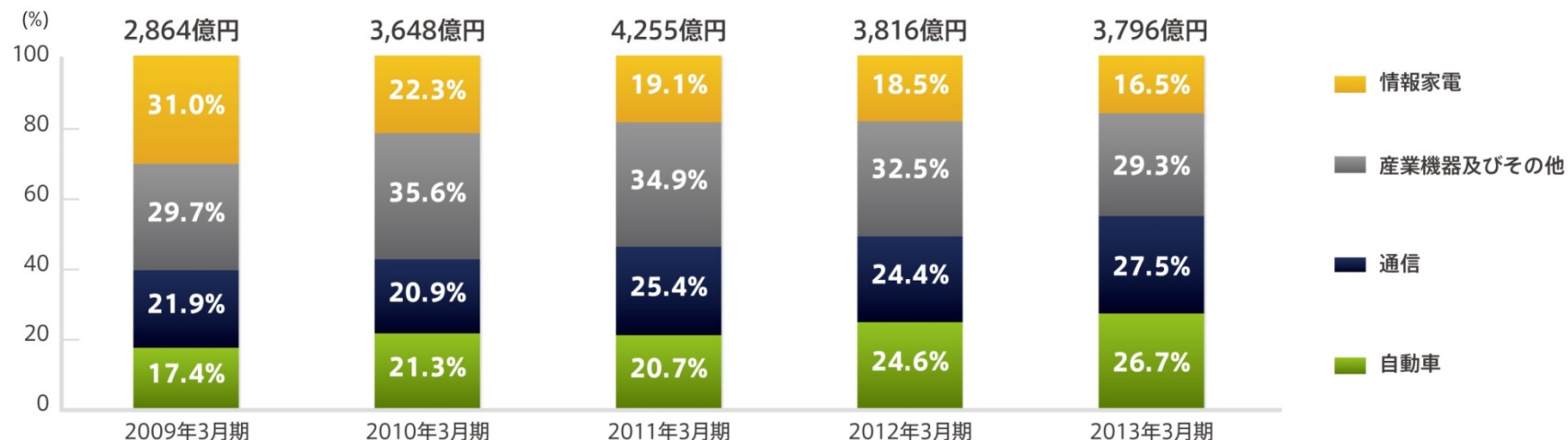
全社 分野別通期売上高推移 (2009年3月期～2013年3月期)



※ 2009年3月期の下期よりエプコス連結

※ 2009/3～2010/3までは非継続事業(ディスプレイ事業)を含む実績、2011/3以降は非継続事業(ディスプレイ事業)除外後の実績値

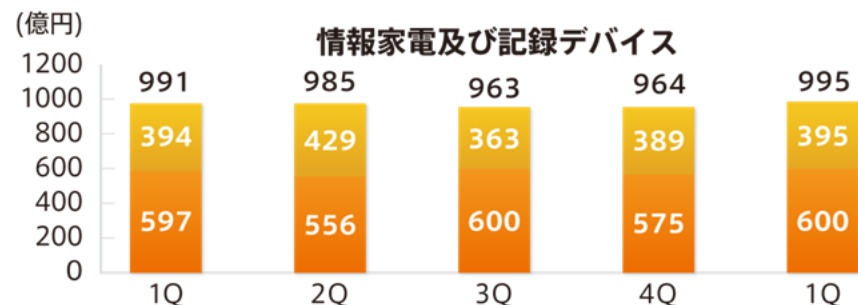
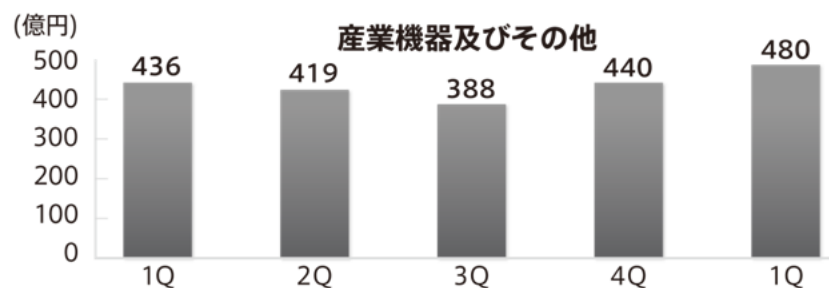
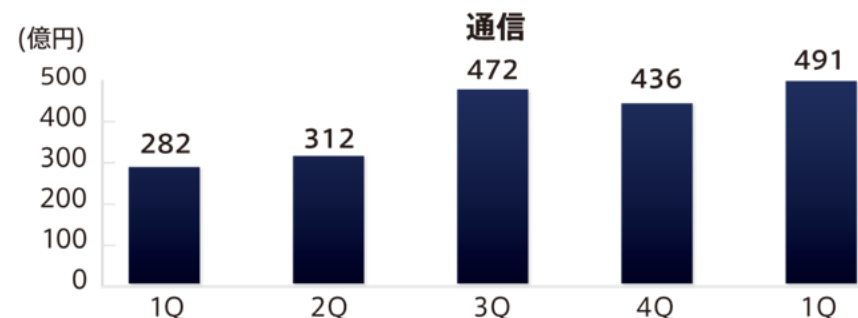
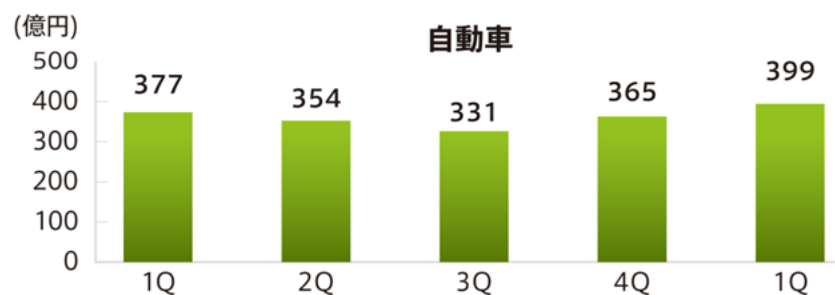
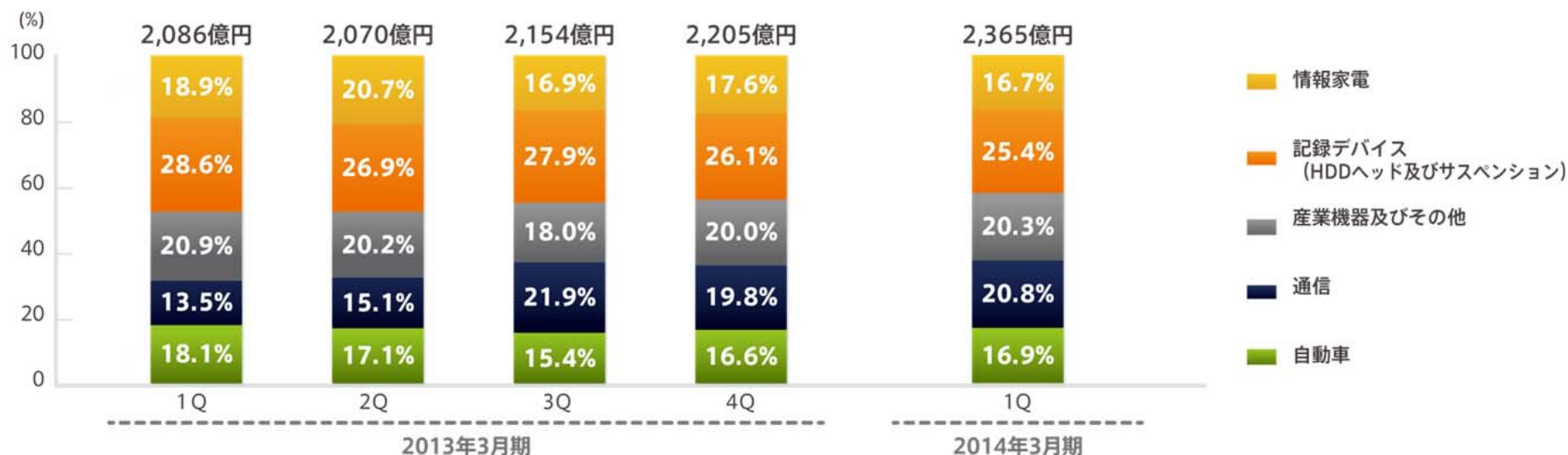
受動部品 分野別通期売上高推移 (2009年3月期～2013年3月期)



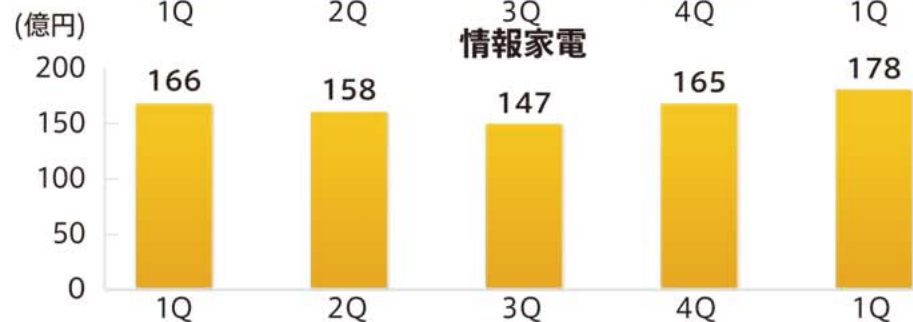
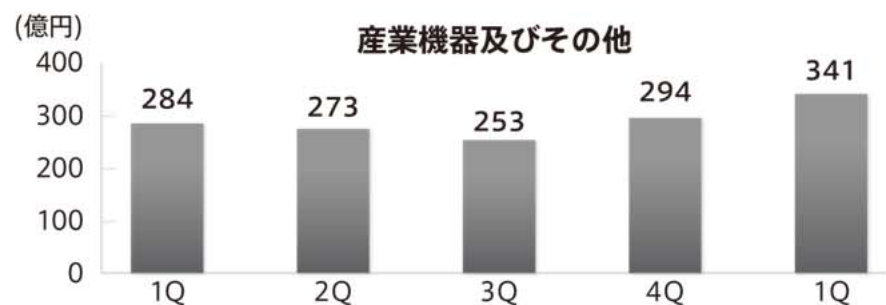
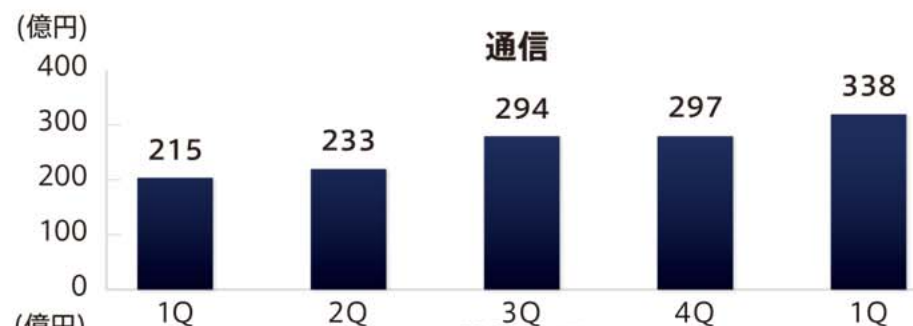
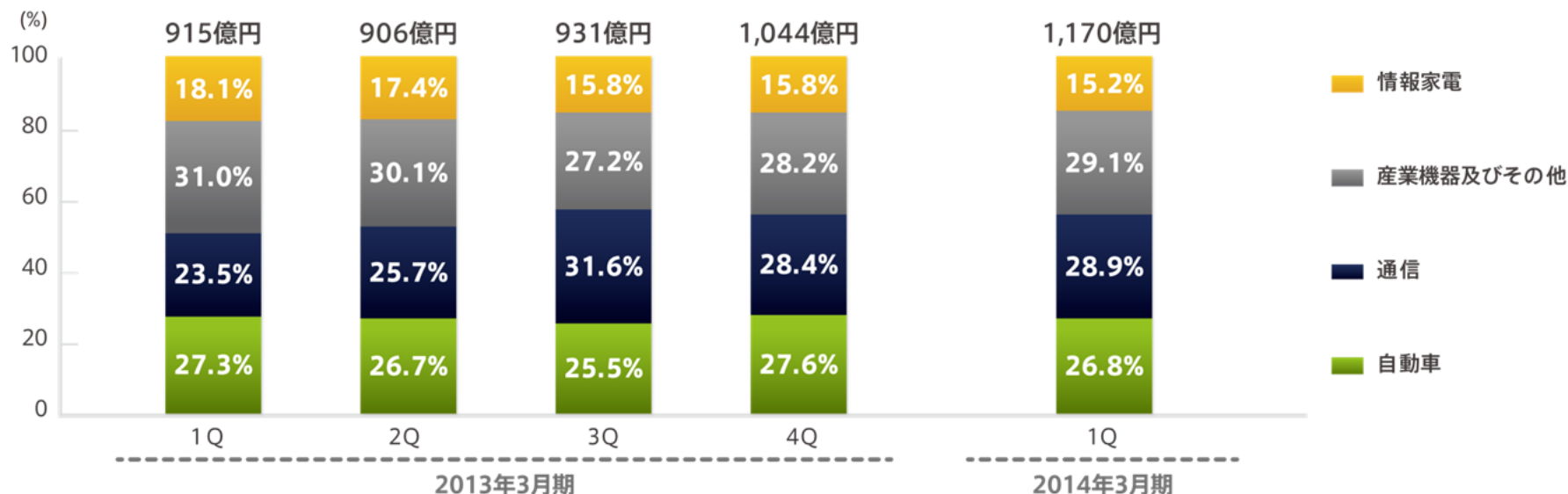
※ 2009年3月期の下期よりエプコス連結

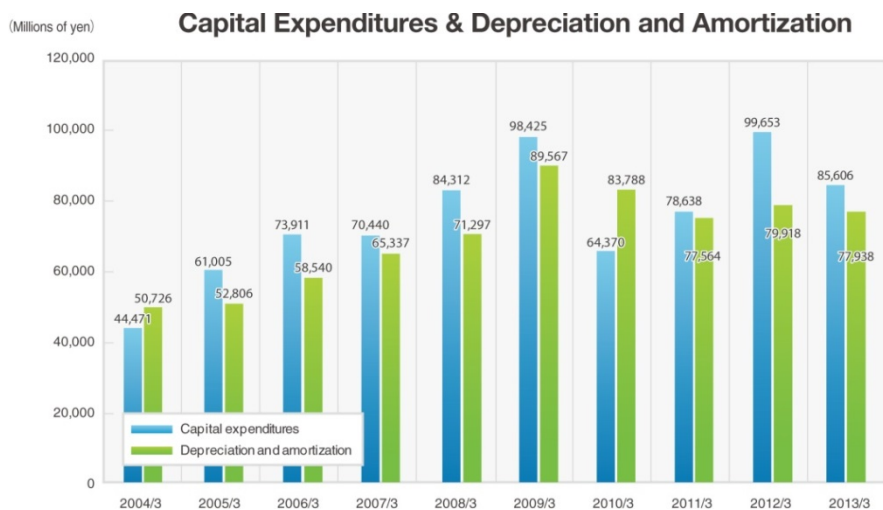
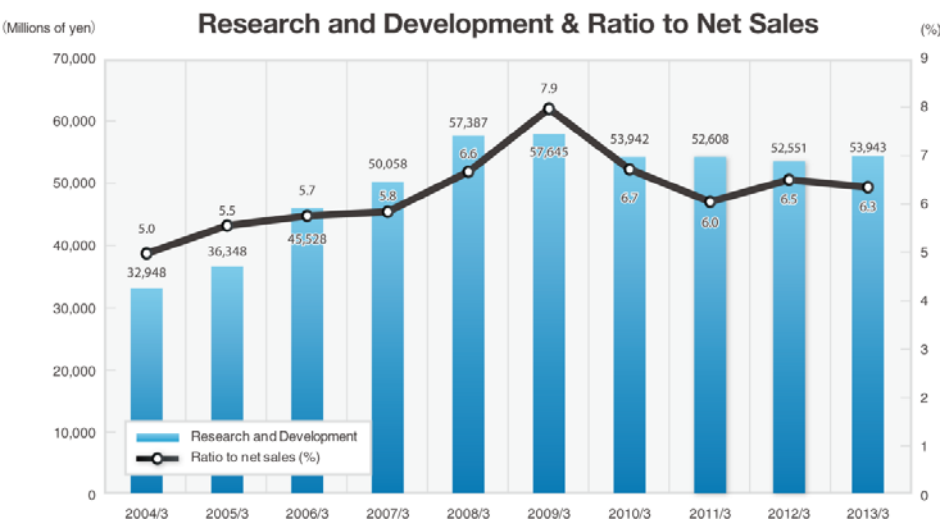
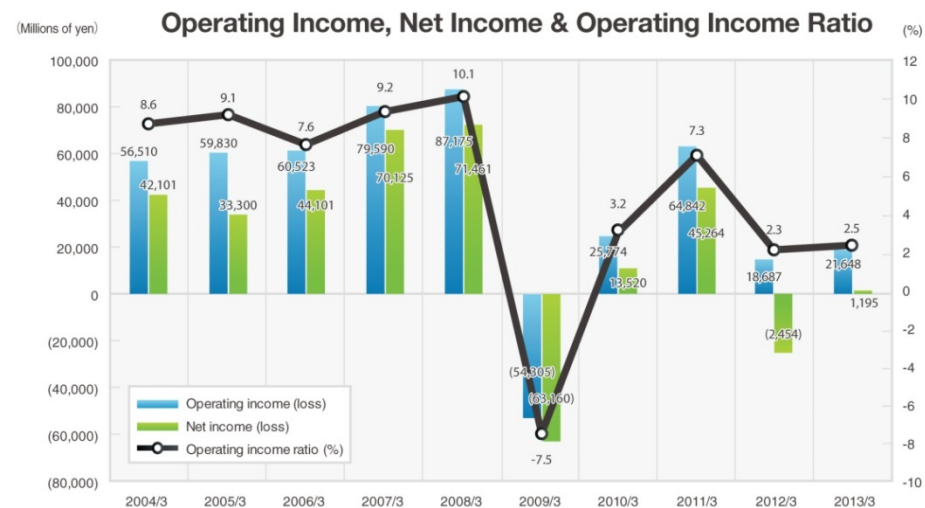
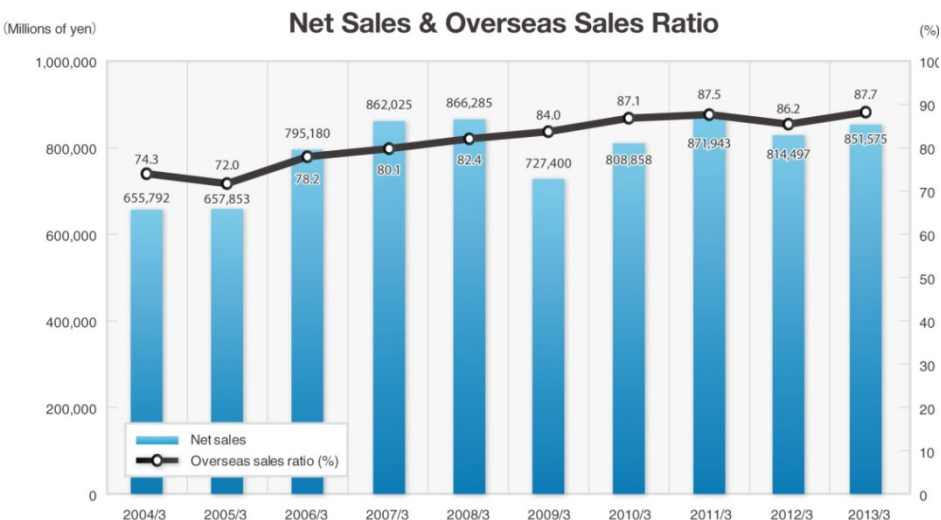
※ 2009/3～2010/3までは非継続事業(ディスプレイ事業)を含む実績、2011/3以降は非継続事業(ディスプレイ事業)除外後の実績値

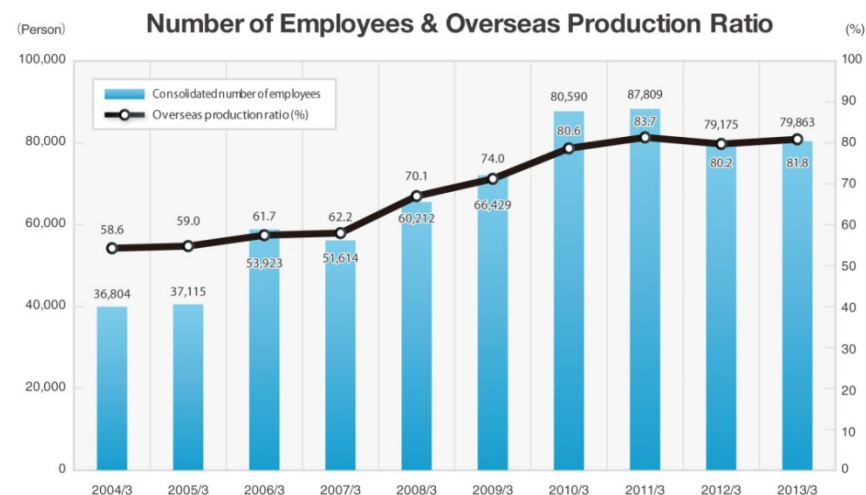
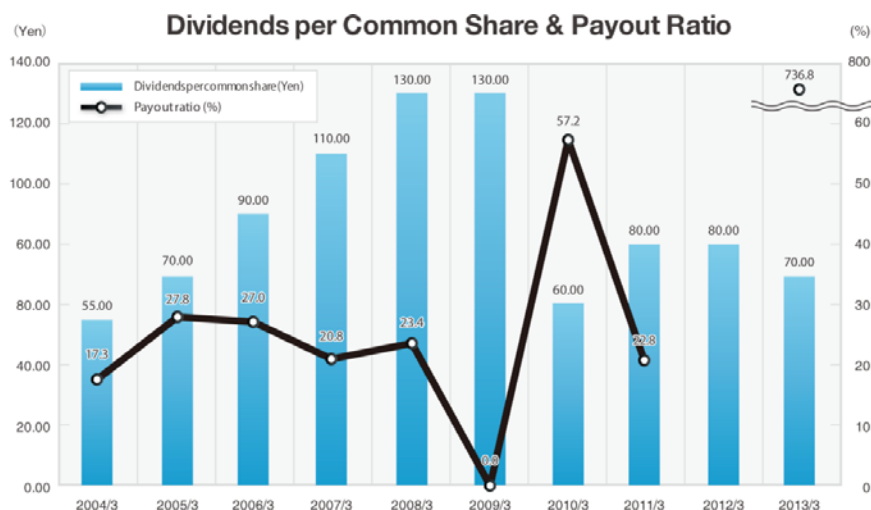
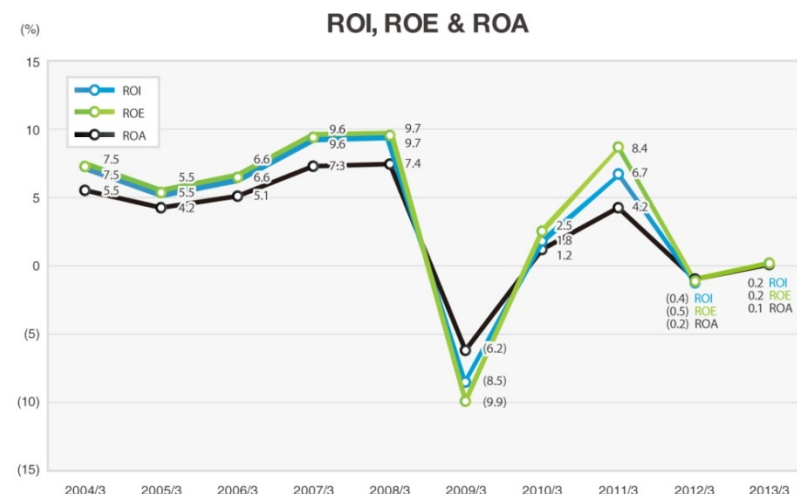
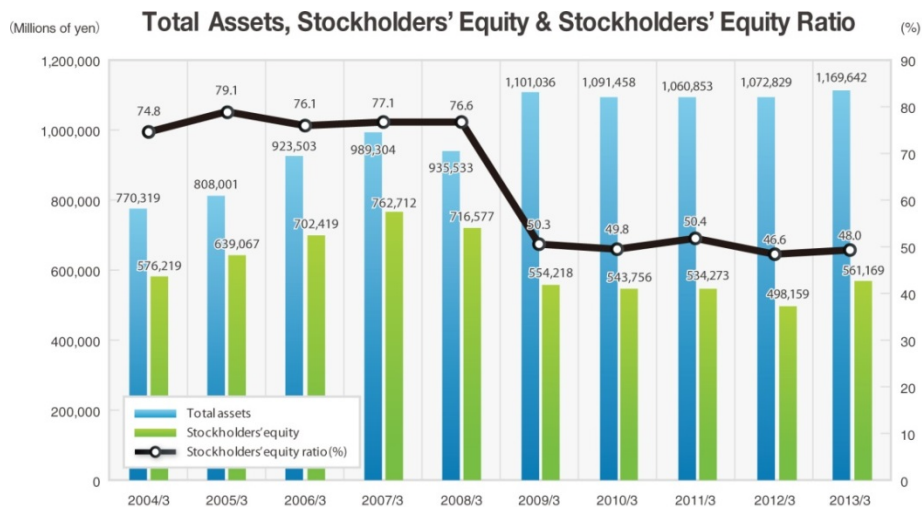
全社 分野別四半期売上高推移 (2013年3月期1Q～2014年3月期1Q)



受動部品 分野別四半期売上高推移 (2013年3月期1Q～2014年3月期1Q)







この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2014/1q_1.htm